京城日日新聞

電話 編輯 營業 … 番

本紙定價 一部金參錢 一ケ月前金七十錢 …
廣告料 …
發行兼編輯人 鳥羽 …
印刷人 松崎宗次郎
發行所 京城永樂町二丁目七三 京城日日新聞社 振替口座京城八〇三七

東京支局 東京市麴町區內下六番町一〇 電話九段一八五〇
大阪支局 大阪市北區堂島中一丁目三六 電話北七五五番

戰後の歐米（十二）

木村雄次

勞働不安に就いては首相は現今の世界は砲彈病に罹りて神經衰弱となりつゝありされば國民は政府に對して不平を鳴らし雇人は雇主に對して不平を鳴らし下級勞働者は其の首領に對して不平を鳴らす人生行くところとして不平ならざるなし然れ共時を經て神經衰弱の癒ゆるに至らばあらゆる不平は消え去るべしと樂觀し石炭坑國營案を採用せざるべしと斷言し寧ろ鑛業を勞働者の利益のために使用し且勞働者の代表者と資本家と相協同して經營の衝にあたるの具體案を提出すべしと述べ居り候がその國營案を採用せざる主たる理由は國營となさばストライキは根絶すべしと云ふにあるも、過日のヨークシヤの炭坑夫罷業は明かに政府の處置に對する不滿より來るストライキなりしに見ても國營必ずしもストライキを根絶せずと云ふに有之候ヨークシヤのストライキは首相の演說前數日即ち八月十四日全然勞働者側の敗亡を以て終りを告げ申候坑夫も隨分惡戰苦鬪を續け候ものと相見え八月に入りては家族と共に炭坑附近の石炭を拾ひ集めて賣却し僅に糊口の資に供せしものも多數之れ有り候由其の後首相の言の如く勞働界の不安も著しく鎭靜に歸し多くストライキの噂を聞かざるは大慶と存じ入り候然れども首相の演說に對する勞働者の態度は依然國營案を主張し九月六日よりグラスゴーに開かれし勞働組合の大會に於ては政府にして國營案を實行せざれば適當の手段を採るべしとの決議を通過致し候が此際に適當の處置とはスミリー氏の如き極端派は直にヂエネラル、ストライキによりて其の目的を達せんとする所謂ダイレクトアクションを意味せしめんとするものに候へども穩和派は民選議會の方法あるに拘らずダイレクト、アクションを行ふは議會革命を行ふものなりとして反對し今や勞働者中にも進んで勞働時間を增加して生産の增加を圖るべしとするものさへ有之マルクスの豫想したる如く勞働者と資本家は常に對立するものにも非ざるが如き現象有之要するに勞働者社會も漸く二分せんとするに非ずやと被存候然れども多數の下級勞働者は矢つ張り極端派らしく抽象的の決議案としてダイレクト、アクションの可否を問ひしに二百五十八萬六千票對百八十七萬六千票の多數を以てダイレクト、アクションを是認致し申候[illegible]より此の決議についてはトレードユニオンの委員會による投票にて必ずしも各勞働者の賛意を表示せずと主張する人も有之候へ共英國勞働問題の前途は依然として暗澹たるもの有之候

抑說勞働黨の主領ヘンダーソン氏はウヰドネスの補缺選擧に於て現內閣派の候補者フィッツシャーを九百八十七票の多數を以て打破り目出度當選致し候補缺選擧の從今回にて七回の補缺選擧に有之候內五回は政府黨の敗に歸し居り候へば英國政界の變動も或は遠きに非ざるべきかとも推測せられ候

疑問の十年度豫算（二）

錢に極に樂觀を以て能事とし居れる財政當局も玆に豫算編成方針を一變して十年度豫算の編成に臨ら ざれば到底傳統的緊縮に加ふるに既定繼續費並に物價騰貴に因る經費の增加を支辨し能はざる羽目に陷り現內閣としては遂に矛盾撞着せる方針を以て豫算を編んとするに至れり其實醜せざるべからざるに至れり其實情を知らば、當然たるものあれど却つて國家財政の見地よりせば其損失の大なるものあるを發見すべく何人も輕々に看過し能はざるものあり然れども幷は玆に論ぜざる事とし目下着手しつゝある豫算査定の基準を爲す歲入の見積と物價騰貴の向背に絕大の關係ある財界の景氣如何に就いて財政當局の見解を檢せんに意識財界の反動以來外ど將來の見定めに困難を來し適確の豫想を爲し能はずと明言し居れるも我財界は今や第三期の反動期に入り全く沈滯狀態にあるものありとし貿易は米國財界の影響する所大なるが米國の財界は大統領の選擧によつて一應恢復安定し隨つて我國にも好影響を及ぼすべきものとし明年に入らば戰爭五ケ年間の變態的財界を平時に復歸して安定するに至るべしとなし其の安定せる財界の景氣は素より戰時の好況に遠く及ばざれど決して急激なる不況を以て安定するが如き事萬々之なく物價も亦此安定期に入らば若干の下落を來すべし即ち十年度の財界は反動來當時の如き混亂を現出せず物價も亦平均一二割見當の低落と見るを相當なりとし此基礎觀念を以て豫算編成に臨まんとせり

東京より

一記者

◇編輯長足下 日米問題は我國の問題として實に至大の案件に有之候、人動もすれば排日を以て加州移民の問題と考ふるもの有之候へ共、米國の眞意は獨り加州に日人を排斥するを以て滿足せず

◇其證據には南米の日本移民をも喜ばず、布哇の日本人發展をも喜ばず、北樺太の占領と對支侵略政策をも軍國主義として哭び、更に太平洋上の日本の勢力をも驅逐せんとするは米國態度に有之候

◇米國の斯の如き形勢に對して日本當局の恐米病は全く呆れ果てたる現狀なるも、國民の輿論は近來漸く抵抗力を示し來りつゝあるを認め申候、陸軍自軍は固より可なり經濟的奮鬪を爲すは愼む可き事なから、一寸の蟲にも五分の魂と申候國々敵に當るは我國民性の美點なり

◇願張き外交の門出の血祭りには先づ其日送りの內閣を倒壞するを第一着手とせざる可からずと存じ候 不一

壓搾器

□加州 檢事總長邦人の土地沒收訴訟を提起し今後續々是を行ふと云ふメリケン根性は日和見である耳

□排日 總會は大統領選擧後更に聯邦としての日本を排斥すとか言ふ排日をして排日協會たらしめよ

□英國 炭坑罷業は免れ難しと云ふ三角同盟は四角張つて之を援助すと之を黑ダイヤの罷業と云ふ

□佛國 大統領として首相ミルラン氏上下兩院聯合會議に於て選擧さる世界果して之を何とミルラン

□三角同盟は炭坑爭議に關し四角張れる政府側と交涉を再開すべく努力せり四面八角の活動を望む

□飛行家故山縣氏の功績を記念すべく山縣記念號を發造すと記念號は新聞雜誌のみに限らずと知れ

新刊紹介

□講談倶樂部（十月號）既に定評ある本誌の秋季倍大號である洪涯氏の瀟洒なる表紙を始め主なる讀物としては小林鐵月の「惡か慾か」前川曙山の「糸の亂」長谷川時雨の「若衆千鬼」大橋青波の「劍の舞」五十嵐松園の「長恨歌」筑波四郎の「心の闇」稻淵奴之助の「秋瀨御殿」松見佐雄の「東山衣裳競べ」洲本種華の「流れ星」湖山長三の「闇の森心中」渡邊霞亭の「六號室」宵柳榮水の「月見草」水島尺草の「侯爵夫人の命」劍石」大河內翠山の「亡妻の怨」大谷內越山の「鼠小僧次郎吉」等は痛快無比、外に眞相を暴露したる「大本敎由來記」あり其他浪花節、情話、落語、漫畫と、尨大な一卷、隅から隅まで誰にも面白い讀物を滿載してある、倘ほ賞金參千圓を懸けた大懸賞は同誌の他に類を見ない試みだ（定價八拾錢郵稅參錢東京本鄉講談社發行）

政界茶話

白髮翁

▲政府も地方官で急がしい事ぢや何の必要で召集したのかと。サ…先づ原の演說で見ると內閣の手前味噌が振舞ひたかつたのぢやらふ

▲それに、世間では政變の期待が一般に漲つて居る、國民の心理は既に現內閣に倦んで居るからノー內閣は仲々止めぬといふ處も見せたいのぢや

▲モー一ツ奥の手を言へば、黨勢の維持擴張には、どうしても地方長官を使はねばならぬ、だから寄せてアレ共を集めて、一方ぢや內閣の手合と親しみを作り、一方ぢや膝下に呼び付けて睨んで置くのが利益なのぢやよ

▲且二千石も今時では職權ぢやお[illegible]東京へ來ると大抵はどの內閣へ仕へても大臣の鼻息ばかり窺ふものぢやからノー、地方官氣質と云つて、仲々一筋繩では行かない、時々召集してオダテタリ、音を取つたりするのが第一ぢや、原は內務大臣もして此邊の呼吸はちやんと呑み込んで居る

▲何、原の訓示師？ヘツ、、、、一口に謂はゞ內治外交は原內閣の手で改善されて來た、普通選擧は思想惡化の證據ぢやと云ふのか、アレの言ひ分ぢやよ、普選尊重の天子が臆を貼ぢやと謂つたら總理は之に和したといふ、ツマり此內閣はで且二千石の諸君に君萬歲を唱はせようといふのぢやノー

▲近頃、大隈、山縣の會見說が盛[illegible]

▲會談の要件は此內外の事局に對して兩元老の意見交換といふのぢやが、兩老共今日の時局を憂慮し原內閣の失政を憤慨して居ることは一致して居る

▲內閣の方ぢや此會見を一大鬼門視して居る。會見の結果は兩老の意が定まるに相違ない、併しそれが政局に殺に政變の來る樣に思ふのは素人考へぢや、元老たつて原に止めろといふ資格は無いからノー

▲だが會見は今日の煮え切らない政局の將來に決定的の運命を與へる動機になることは疑ひない、よ時局の重大といふことは近來誰も自覺して來た事ぢや、日本としては大戰中よりは今日の方が餘程六ケしい時になつて居る

▲某日新聞の白熱社說で此聯合をでも此難關を切抜けて行く國家の將來と利益を保護する譯には行かないからノー

創作 熱光の下を（十六）

曉谷

夜も更けかゝつてゐた。高下駄の齒を埋める樣な雪の道を、私はさつさと足を速めてゐたら「拔けましたの。」と言つて追ひ付き乍ら今まで自分が粘繰を起してゐたことを恥る樣な口吻だ。そんなに小さいのなら買ひ代へやうと言つて又引き返した。

其時買つたのが此の指輪だ。夫からは始終お前の指に可愛い光りを見せてゐた。そしていろんな私達の家庭の相伴をして來たものだ。二度目に實家へ行つた時も「此の間買つたの。今に姉さんにも一つ位贈つて上げる樣になるワ」と、自慢話の種になつた。

私のお阿母にはどうせ知れるのなら打明けて置からうと思つて、安かつたから買つてやりましたと言つたら「宜え〳〵。指輪の一本位買つてやる位の景氣がなけりや[illegible]いから。」と指輪を摘んで見たりした。

夫から二三日經つて、再た困つたことに行き詰つた。

或日、山田が突然家出をして私の家にやつて來たのだつた。努めて平靜を裝ふてゐるらしかつたが不安と焦燥の色が、鋭い眼の底に輝いてゐるのが解つた。

「兎に角譯もあるだらうが、餘り突飛なことはするなよ。」私はこれだけ云つた切りで、宥める如に優しく彼の面を見詰めた。

「駄目だ。解らないんだからね。彼等何だつて、餘り解らなさすぎるんだよ。元來、繪をかくなと云ふことからが無理な注文だ。」山田は腹立たしい心持ちを抑へつける如な苛々した風で、頑固な父親が唯無暗に働け働けと云つて、山田に何等の自由をも與へて與れないので、彼は遂に業を煮やして家を飛出したのだと說明した。

「まア。妾、心配でなりませんツ。でも、山田さん達でも矢張りそんな不自由や苦痛がありますの。妾は貴方こそ幸福で被在ると思ひ込んでゐましたのに。」お前も傍から言ひ添えた。

「馬鹿なことを言ふなヨ。金持ちだから不自由や苦痛がないと言るか。」

揶揄するやうな半は山田に言ふ如に笑ひ乍ら私はお前に言つ[illegible]

「そりや、さうですけど。……宅がお困りでせうにネ。」

「大丈夫ですよ。奥さん。二三日家を出てゐれば親父の奴も默ひくに違ひありません。」

「ぢや、何さ。當分僕のところで繪でも畫いて遊んで居給へ。遠慮は要らないのだから。」

私達は彼に對して充分の好意を表示すべき理由も充分あつた。彼が京都に行つてゐた頃から、故に歸つて貧しい繪の榮落で生活して行く迄には、何日も陰に陽に世話をかけてゐたのだつた。

私は彼に好意を與へられることが彼々嬉しく思はれた。お前が彼の指輪摘へをしたりする間に山田と談しをしてゐたら、何だか除に深くましい位に隔てのない親しさが湧いて來るのだつた。

夕方、大井が學生服の儘やつて來た。蹴みにして、何時もの樣に大きな帽子を後頭部の方へ摑り上げ乍ら「おい。」とぶつきら棒に言つて

「どうした俺は心配しとつたぞ」

山田も私もお前も、意外な大聲に顔を見ると急に笑ひ出したい可笑さを堪えて來た。山田は打つて變つて大井を揶揄めるのだつた。

「大井。貴樣が餘り俺を踊ひ出すからこんなことになつたんだ。奥さん。大井は喰ひ奴です。……と口笛を吹くので、金町、ま白が來た、行つて見んかと……も彼の家の横手に來て、ピイ……度肉るのです。」

大井が笑つてゐるだけで

「誰に聞いても笑ひこけた[illegible]

内外電報

軍事行動開始

モロッコに於て[illegible]軍事行動を開始せんとし一萬四千の軍隊はウエツザンに前進中なり（[illegible]來電）

英炭坑夫資金缺乏

英國炭坑夫組合の決行は二十三日の總會にて決定すべく炭坑夫を援助すべき[illegible]從業者に運動資金なく一週間以内には該資金も缺乏し盡さるべき恐れあるを以て頗る困難し居れり（紐育來電）

日米交渉進展せず 結極訴訟提起乎

幣原大使及國務省係官吏は日本の北部樺太占領並に加州排日問題に就き協議しつゝあり國務省は加州に於ける一般投票の結果に干渉するの意志を有せざること明かなりと雖も若し現下の排日法案が採用せられたる曉は新條約の締結に依りて加州の狀勢を修正するか或は聯邦裁判所の判決に依つて是れを解決せんとする意向あるも新條約の締結は國務省の希望せざる所なりとのことにて一般に傳へらるゝ所に依れば聯邦裁判所の判決は日本政府が加州立法の米國憲法上合法なるや否やを決する爲め是れを裁判所に訴へんとするものなりと信ぜらる（華盛頓來電）

在留邦人 緩和運動開始

加州在留邦人は自己の立場を加州人民に周知せしめ排日氣勢を緩和せんが爲に印刷物頒布等の手段に訴へつゝあるが排日法案の通過したる曉に於ても憲法違反訴訟を提起すべく其他あらゆる方法を盡して排日運動に對抗せんと覺悟し居れり（桑港來電）

對支外交轉換期 孫文氏の排日問題論評

孫文氏は米國加州排日問題に就き語りて曰く加州排日問題は單に經濟上の問題に非ず最後の歸趨は人種問題なり憶ふに日本の對支外交の轉換期も亦今日に迫れり白人に對する黄色人種團結の第一歩として日支親善を策すべく日支親善の第一歩として日本の對支政策改變を必要とせん予は斷言す予は排日論者なり日本が[illegible]を助け更に張作霖に乘[illegible]へんとしつゝあるが故排日論者にて米國が[illegible]世凱を助けたる時予は排米論を主張せり予は今日日支親善の轉換期たらん事を希望す（上海來電）

人心日々に悪化 朝鮮獨立運動顛末を赤池警務局長説明す

二十五日の地方官會議に於て午後二時より赤池朝鮮總督府警務局長より朝鮮獨立事件の顛末を詳細説明する所あり其の獨立運動の方法[illegible]

米國憲法改正案 成立は不可能 極端なる排日案の運命 ＝某外交官談＝

十一月二日一般投票に依る加州排日案通過の曉は市民たるを得ざる日本人は加州に於て絶對に土地を購入し或は借用する能はざるに至るべく即ち一千九百十三年以後期限附にて得られたる借地權は全然奪取せられ米國に於て生れたる丁年未滿の市民の名に依つて其の後見人が市民權を有せずして土地を買入れ是れを使用するを禁止せらることゝなり日米兩國人合同の株式會社中米國の市民權を有せざる日本人が一人にても重役中にある場合には其の會社は土地所有權を有せざることゝなる次第にて實に苛酷なる排日案なり同案にして實施せられんか今後日本人にして土地を所有し得るものは米國に於て生れたる丁年以上の者に限られ其の數極めて少し然れども今より十年も經過せば加州に於て生れたる日本人にして市民權を有する者は相當の數に達すべく斯くて是れをも拒絶せんが爲め加州兩黨大會は米國に於て生るゝも市民たるを得ざる兩親を有する外國人の子供には市民權を與へずとの憲法修正案を提出せんことを決議せり若し此の改正案にして通過せんか米國憲法に依り歸化權を有せざる日本人は永久に加州に於ける發展を阻止せらるべく而して市民たるを得ざる外國人の土地所有が憲法違反たるや否やは疑問の餘地あれども一千九百十三年以降累次問題となりたる際我主張は敗れ居れり從つて本投票通過せんか訴訟を起すも我に勝味少なく市民たるを得ざるものゝ子孫は米國に於て生るゝも市民權を有せずと云ふ憲法改正案は四十五票中三十二票の賛成あるを要すべきに依り成立は不可能なるべしと某外交官は語れり（東京來電）

戰機刻々に迫る

[illegible]の關係を述べ[illegible]十月一日[illegible]を機とし不逞鮮人一掃に[illegible]して全然[illegible]時機に適せば自治を許す[illegible]得ざる事情にあるを[illegible]の當時と全く[illegible]を異にしつゝありと說明したり（東京來電）

奉直軍と四川軍との勝敗を決すべき天下分目の大激戰は目捷に迫り來れり（北京來電）

内大臣結極留任 松方侯居据りの經緯

松方内大臣更迭問題は[illegible]の經過を辿ねたるも遂に松方侯留任に決したるが是れより先松方侯の辭意固きものあり後任として西園寺公、平田子、牧野子三氏を候補者として山縣公に諮りたるも西園寺公は其意なく平田子亦固辭して受けず牧野子なれば其の閲歷及び人物に於て申分なけれども薩派の擡頭を恐るゝこと甚だしき長閥は飽く迄も是に反對すると云ふ事故を生じ遂に留の後任を得ること容易ならず結局松方侯の辭職を許さざる模樣あり數日前聖上陛下より松方侯に優詔を賜はり侯も留任に決したる次第なりと（東京來電）

後藤系の飛躍

野心と後藤男の陰謀と彼は全く附きものゝ如くにして、常に政界に噂の種となり居り寺内内閣の後米漫遊以來頗る雌伏して時の至るを俟てる模樣ありし男は或時は東都の新聞に後藤内閣論を語りて今後の内閣は政黨内閣ならざるべからずなど稱し、自家に野心の存せざるが如き爲似を爲し、或は彼の國際經濟調査會案の臨時議會の提案として容れられざるを見るや、病の故を以て自ら提案の撤回を原氏に致せる等動もすれば現内閣との好意關係を斷絶せるが如きありしに、昨今病後[illegible]恢復せざる間に於て早くも後藤内閣に就て暗中飛躍を開始しつゝあり、過日原首相の山縣公訪問後自ら小田原に公を訪ひ世人をして事ありげに感ぜしめつゝあり。男の山縣公訪問は主として公の夏季中の病氣見舞に過ぎざるも、一面には事に託して公の意中を讀み併せて公の歡心を買はんとするに外ならず。而して一方には其乾兒をして後藤内閣説に就て次期内閣の到底反對黨の手に渡らざるを宣傳せしめ政友會と妥合して原氏と[illegible]投合の政界を演出せんと試みつゝあり、政界の野心を忘れんとする裏面に於て、男最近の消息は依然として後藤一派の暗中飛躍に着しつゝあり。

猛火全米を包む 排日の風潮益々惡化 ＝澁澤子爵談＝

排日問題の風潮益々惡化し今や其の猛火は全米國を包まんとし形勢容易ならざるものあり右に關して澁澤男爵は曰く加州問題が斯くの如く險惡となりたるは若し加州排日が彼等の希望の如く實現することゝありとすれば我同胞の米國に在るものは土地を離れ結局窮地に陷るの外なかるべし故に日本政府も米國政府に對し加州問題を良好に解決すべく交渉中なりと思惟せらるゝも加州一般投票にして通過せば中央政府の裁斷を仰ぐの外なかるべく現狀を以てすれば前途最も悲觀せざるを得ず唯裁判の結果を待つは多大の時日を要するを以て要は兩國高等委員の折衝に依り形勢緩和を爲すを以て最も賢明なりと信ず高等委員組織の件は曾てアレキサンダー氏來朝の時より問題となりヴアンダーリップ氏今春來朝の際一層是れを具體化し余は[illegible]是れを政府に献言したるなり而して現に神谷忠雄を余は紹介し米國に向はしめんとしつゝあり云々（東京來電）

暴風來の前提乎 仁川商議三議員の辭任

仁川商業會議所評議員副會頭河野竹之助、美濃谷榮次郎及吉田秀次郎の三氏は過般來業務多端の爲め到底職責を完うする能はずとの理由の下に連袂辭表を提出したるが吉田氏の如きは其後熱烈なる友人の勸告に從ひ暫く留任する事になりたるも河野、美濃谷兩氏の辭意は頗る強固なる者の如く辭表提出の儘自來評議員會に出席する事なく公人としては單に府協議員として仁川府の爲め盡瘁し居るに過ぎざるなり、有數の元老實業家をして會議所評議員或は其評議員を辭退せしむるが如きは假令其間如何なる理由あるにもせよ今後會議所の發展上最も苦痛なる大打擊なるべき仁川の爲め最も[illegible]

態度

に出て自ら潔うし[illegible]と言ふ者あり或は前回の會頭選擧に對し心理[illegible]たるなりと評する者あり其他仁川に於ける兩氏の位置が重大視せらるゝ丈け其丈け其辭職は亟[illegible]に惜しまれ居るが京城に於ては商業會議所に來りたる者に非ずして發起人加來榮太郎、和田反太郎氏等に死分配されし者なれば其[illegible]の權限は發起人に在りと言ふ可く從つて不當不公平なりとしても其責任は當然發起人の[illegible]

周知

の事なれば河野、美濃谷兩氏辭任の眞意を其[illegible]に遠[illegible]の[illegible]千萬なりと爲す者あり又會頭問題に至つては却つて兩氏の爲め迷惑を蒙撰する兩氏が所謂の邪推にして見識ある兩氏が[illegible]を以て大義を[illegible]はんとするが如き醜態を演ずるが如き事は斷じて之あるべき筈なきなり然れば兩氏の辭任は前記の二理由に基因する者に非ずして事實業務多端の爲めか然らずんば他に合理なる理由の存在する者と推察するの外なく目下當務員[illegible]伊平氏が其間に入り留任勸告的に兩氏の意嚮を叩き居る由なれば[illegible]なる兩氏の反省と[illegible]

（以下各地）

紛糾

[illegible]氏の辭職と相俟ち近く一應、光風明月に浴するに到るべけれど協議員選擧を目睫に控え居る昨今、兩氏の辭退は興味ある問題なりと一般人士より觀測され居れり（仁川）

市民協會議會

平壤市民協會にては主として市[illegible]頭辭任問題並に公會堂經營問題を後六時散會せり（平壤）

大同江架橋延期説 平壤市民の躍氣運動

平壤對岸の地は製糖工場[illegible]を市場に出す一段取となり[illegible]務を刷新し將來の活動を期し近く[illegible]は麥酒、[illegible]の兩大工場將に實現せんとするのみならず朝鮮[illegible]の如きも地を[illegible]

舊市街

の對岸[illegible]村[illegible]下して平壤と對岸との交通愈々[illegible]往來の度を加へんとする矢先に於て朝鮮總督府は本年度より着手し既に材料の如きも江畔に山積し居れる大同江の架橋を延期せんとすと傳ふる者あり或は未だ判明

年度割

の[illegible]を使用し盡し到底大同江の架橋工事を進捗する餘裕なしとの風說一概に打消し難きものあり市民は[illegible]く能はず遂に廿三日の市民協議會に於ても急施の必要を絶叫するの一駁を擧げたる次第なるが愈々該風說の如くなりとせば對岸に施設經營せられんとする各種事業の進捗上甚だしき打擊にて總督府としても單に區々たる地方問題とのみ輕視する能はざるものあるべきを以て此際市民は屑々たる内爭を一掃し協力一致當局を動かして寧ろ豫定以上急速に架橋せしむるの策を取らざるべからずと唱ふる者あり都合に依つては近く市民大會の開催を見るべし

航空隊

の建設を別とし[illegible]

平壤商議開催

大同江架橋延期は平壤の發展を阻[illegible]可なり[illegible]

加藤氏北支視察

加藤恒忠氏は滿洲及北支那視察の爲二十九日大連に到着の筈（大連來電）

商議聯合出席勸務

近時鮮人思想の惡化は一般行政上に與ふる影響は元より實業界の進運を阻礙すると少からざる者あり此際之が對策を講ずるの必要ありと爲し全鮮各商業會議所會頭及二十三日前十時より向ふ三日間京城商業會議所内に於て全鮮實業大會を開催する事となりたれば仁川商業會議所にては仁川よりも成る可く多數の出席者を募集せんとて府内各公職者及有力者に夫々案内狀を發送せり（仁川）

支那領事送別宴

駐在支那領事張國威氏は今回英領[illegible]領事に榮轉し十月二日當地を出發し新任領事[illegible]氏は二十九日前任地[illegible]より來任する由、右に就き二十八日の仁川俱樂部會の送別會の外、二十七日午後[illegible]府尹は官邸に於て張氏の送別宴を開くべしと（仁川）

風塵錄

▲二十五日[illegible]の全鮮記者[illegible]に依[illegible]

（以下風塵錄續き、[illegible]）

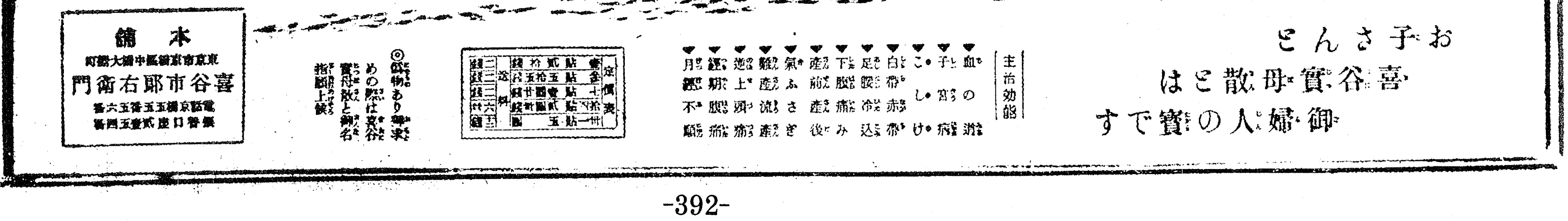
尼市附近の經濟狀態 （二） 露人の窮狀は其極度に達し 日貨の聲望いやが上に高し

▲尼市附近一般の狀勢は[illegible]に於ても變化なり我軍に對する反日的[illegible]より來るもの多く露人の[illegible]なるされど此れに[illegible]へ、刑事犯者の[illegible]の[illegible]ありて尼市住民は不安に[illegible]はるゝこと屢々あり、刑事犯と[illegible]強盜、[illegible]の殺人の[illegible]なる犯罪を[illegible]する[illegible]もの[illegible]二ケ月間の統計に[illegible]名の殺人[illegible]

▲我[illegible]は最近[illegible]の[illegible]と共にチタ及北満方面よりの[illegible]が上に增し[illegible]

▲露[illegible]經濟界の不況は、日を逐て[illegible]





京電に誠意なし

木本專務は飽迄市民の聲に耳を假さゞるか

止むなくんば市民大會を開催し監督官廳に陳情せん

京城電氣株式會社に對し吾人は既に屢ならざるは止むを得ざることとなに三度其の反省を促し改善を要望りと爲す之が市民の上に誠意を有したが聞々しくも死太くも未だ何し己れの責任に忠實なる者として等改善の實を見せないのみか最もの言草であらうが易々たるべき點燈時間の改善をすら實行せず一顧を

馬耳東風 に附し平然として顧劣なる利己本位の態度を固持してゐる厚顏さは吾人をして呆れ果しむるのみならず寧ろ憤慨に堪へざらしめるものがある

京電は故障の頻發に對しては既に充分なる處置と適當なる方法とを以てその防遏に努めてゐるが由來故障の發生は必ずしも會社の責任のみでなく一種の不可抗力に起因するものがある故に之を絶對に防止せよとは到底實行し得ざる不法の要求なりとしてゐる更に點燈時間に就ては既に日沒前十五分に點燈し日出前十五分に消燈してゐるのみならず曇天候の關係をも特に參酌し

點燈時間 を早からしめつゝあるを以て此上改善するの必要を認めずと云ふ更に料金の高きは火力發電なるが爲で敢て不當の料金にあらず停電に對する料金の割引の如きは問題とするに足らぬ而して改善のことは既に充分努めつゝあれども啻に一區域內のことに非ずして廣く全市に渉ることゝて實績の容易に擧がらぬのは亦止むを得ないことだと云つてゐる故障の大半を不可抗力の罪に假し點燈時間は日沒と日出を標準とせる爲充分なりと嘯き更に改善の容

不可抗力 は瞭疑すべき性質のものではない時に不可抗力に依る故障があるにしてもそれに對する修復は會社の責任でなくてはならぬ何か停電數時間に渉るが如きは正に會社の怠慢である左もなくば未熟なる職工を使役する會社の罪である日沒前十五分に點燈せりとは元より眞紅なる嘘であることを事實が立證してゐるではないか實績の擧がらぬのは止むを得ないとは自己の無能力を表明せる厚顏しき遁辭に過ぎない要するに京電は現在の狀態を以て會社として完全

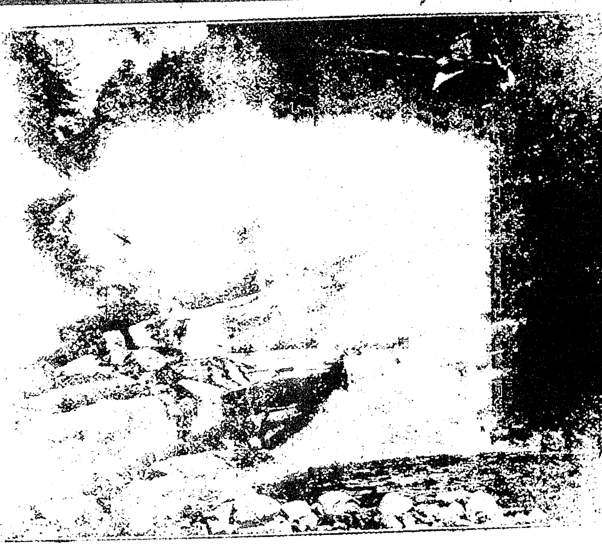
責任を果 せるものなりと自惚れ現在を以て市民は滿足すべきが當然なりと考へてゐるものである自己の缺陷と不完全を自覺せず徒らに誤れる自信を抱いて豚の如く存在する京電が他よりの忠告と要望と反省に耳を傾けないのは寧ろ當然であらう市民は果して豚を豚として默過する事が出來るか電氣事業は彼等の云ふが如く完全を期し得ざるものとして不便と損害に盲從するであらうか京電は目下三千五百基の發電能力を有してゐて供給に餘剩を有してゐる點燈時間を早からしむるが如きは

スイッチ 一個を動かすに僅に

すことに過ぎない併も彼が是を改更しないのは營利の關係ではなく要は唯營利の觀念に堅められたる利己的營業方針の然らしむるものでなく何か一つの誠意なく半片の自覺なく一意專心株主の前に配當を多からしめんことに努め愚に依つて己れの力量を示さんとする愚劣なる施策に囚はれたるもの也と云はれても辯解の餘地はないであらう。吾人は決して白晝に點燈せよと要望するものではない不便なればこそ現在の點燈を三十分早からしめ

朝の消燈 を三十分遲からしめよと促すのである若し會社にして市民の上に一片の誠意があり公共的觀念があるならば即日實行すべきではないか今や京電は其職者として尋常なる忠告と反省を以て其改善を覺醒は望み得ないとすれば木本專務は果して人か豚かと怪しむのである吾人は鈍感無能なる彼を捨て改めて京電社長大橋新太郎に向ひ反省を促し責任ある回答を求むるものである併も更に改善を事由に愛し責任を回避するに於ては

市民大會 に依つて市民の輿論を求め監督官廳に訴へて京電の自覺と改善を期するであらう。



秋の囁き

初めて公衆の前に出た前獨帝

[illegible]（東京來電）

視察觀光の米人續々來る

目的は果して何

十月五日から十日間朝日曜學校大會には千餘名の來會者があり閉會後その內の一部[illegible]伯利等の觀光旅行を[illegible]しかも彼等の[illegible]

明かな事 [illegible]

那邊にあ [illegible]は作製中であると

出征軍順次出發す

萬歳聲裡に

愈出發命令降下したる第十一師團司令部及び經理部各隊は既に二十五日頃より二十八日迄に出發することゝなりたり右に就き二十五日午前六時半騎兵第十一聯隊本部及び第一中隊次で午前九時聯隊長以下師團司令部員等出發したるが沿道は國旗提灯を揭げ學生在鄉軍人其他一般市民の盛なる見[illegible]

元山の騷擾事件は戰爭遊戲の萬歳から

他地方不逞團とは連絡なからんも二三外人は關係ある樣子

檢束約五百名に達す

元山に於ける鮮人[illegible]後表面平靜なるも[illegible]警官の警戒嚴しく目下犯人[illegible]（元山來電）

過半の學生 其他約五百名其の署に檢束されたるもの少年にして之等の父兄門前に集り大混雜を呈しつゝあり[illegible]

萬歳を唱へ [illegible]

現場に急行 [illegible]（東京來電）

馬賊團

また來襲す

[illegible]賊の來襲を受けたる琿春[illegible]約二百名[illegible]再び王成海を頭領とする總勢二百四十餘にして[illegible]を破壞し囚徒八十餘名を解放し[illegible]の商店を破壞し掠奪をなし放火し[illegible]引揚げたり邦人[illegible]八十餘名鮮人六名あり知事の[illegible]も其內に在り支那官憲等は逃[illegible]るが馬賊引揚げ後支那人三名[illegible]十二名の屍體[illegible]見されたり

痒い處へ手が届く

佛國の支那學生優遇振

[illegible]佛國政府にては曩に支那[illegible]の渡佛に對し多大の便宜を與[illegible]生三百名を收容し得る寄宿舍[illegible]を開始し最初は專ら佛語を[illegible]し且支那本國の學問をも教へ[illegible]各自の希望に應じて各地大學[illegible]學を許可すべく文政文教師四[illegible]佛國に向つて近く出發すべし（東京來電）

西比利亞大森林の伐採

セミョノフ將軍及びウンゲルン男爵に會見して邦家の西伯利亞發展を議するの記

西伯利オノン森林に於て 畠山孝太郎

記者曰く畠山孝太郎氏は目下部下百餘名と共にオノン上流の森林伐採に從事しセ軍を援助しつゝある快男子なり本稿は氏が其の手記を寄せたるものなり

種々な曲解や誹謗や中傷を加へてセミョノフ將軍を葬らうと云ふ計畫から、セ軍に反對する露國人等は巧妙な宣傳方法を講じて日本に傳へた。日本の新聞紙は孜つかり一杯喰はされるとも知らずに、之れを極々しやかに麗々しく記載した。然しソレが爲め、何もセミョノフ其人の人格と

親日的態度 を變更せしむるには到らなかつた。日本軍の西伯利撤兵は、確にセミョノフ將軍の爲には大なる打擊で有つたけれども日本が公然とセ軍を援助する事は國際關係上不可能で有ることをもセ將軍は諒としたのであつた。セ將軍の親日的態度は決して、露探と誣つたものでは無い。亦セ軍は決して赤化するやうな事はないが唯、極東の現勢から見て、將來其勢力が何時迄持久されるか、又如何許りの勢力を擴大するかと云ふ點に於ては多少憂慮に値するものなる事は勿論で有る。

西伯利撤兵開始後、間も無く、余はセミョノフに會見すべく朝鮮を出發して知多に赴いた。此の時セ軍は、既に知多を捨てゝダフリヤに引揚げて居た。時に既に日本軍は

續々と引揚 げつゝあつた、知多に居殘つて居たのは若干のザバイカル通信の連中と、滿洲跡片附けの兵が居た許りで、滿洲里には、高田倶樂部の主幹君が唯一人取殘されてゐた。ダフリヤにはセ將軍の近侍者たる日本人が四五名居るに過ぎなかつた。

セ將軍と予との會見にはバロンウンゲルンも加はつて居た、ウンゲルン男爵はセ軍の將で頗る智謀家で、予とは舊知の間柄であるセミョノフは予に對して大略左の如く語つた

予は、日本に對して大なる感謝の念を禁ぜざるものである今日日本が公然予を援助せざる事となり西伯利を撤兵することとなつたとしてゐる、而して予は、之れが爲め大なる哀愁は感ずるけれども、決してソレに依つて從來の親日的態度を變更したり、又は過激派に對抗する鋒芒を斂めやうとはせない、日本外相の內田氏が、日本の武士道的立脚よりして予に同情を寄せられ居ると云ふ事を聞き一層感謝の念を有してゐる。世間では、日本軍の撤兵に伴ひ予が亡命すべしとなし、或は蒙古に逃竄し或は日本へ逃亡せんかと噂し居れる由なるも、予は決して、逃亡の考へはない否飽迄西伯利の秩序を維持するのである云々と其の意氣は軒昂たるものが有つた。蓋しセミョノフは今日に於ても未だ

多數の金塊 を擁し部下も相當に有して居るから其命數は、金輪直下の變化なき限りは持續されるで有らうと思はれたので有る。

セミョノフ將軍は話頭を一轉して余に對して語る

然し乍ら、日本の對西伯利策に至つては遺憾ながら不徹底と云はなければならない。余は、日本人が成る可く多く西伯利を開拓し、其產業を啓發して現れることを熱望するもので有る否將來西伯利在住の露國民は悉くこれを希望してゐる、然るに、日本軍撤兵と共にザバイカル州に地盤を有する二千餘の在留日本人は多年の經濟的地歩を捨て、退去した、今や數十年來西伯利に馴れたる彼等は或は浦鹽に或は鮮滿に赴いて再び來ないのであらふ、假に將來、西伯利へ再び邦人の發展を見る機會を招來したとても、從來程の勢力は十年二十年の日子を費すと雖も覺束ないかも知れない實に日本人の爲惜い事である云々と云つた。余は、セ將軍の此の言に對して、同感せざるを得なかつた。依つて余は

現在何等か の事業を西伯利亞に存せしめ此の天地に全く日本人の影を斷つたと云しめないので相當な方法は無いかと尋ねて見た所が幸に居たバロン、ウンゲルンは椅子を乘り出して曰く日本人が西伯利に活躍すべき唯一の事業は、余の所有するオノン上流の森林伐採で有らふ、百名の日本人が監督して附近の哥薩克及支那人數千名を以て伐り出し此の材木を東亞に供給するならば最も有利で有らふ云々と、オノン森林に就て詳細の說明を試みた、依つて余も又、此の伐採事業が將來十數年に亘りて行はれ得ること、年々數千萬圓の利潤ある事、邦人の西伯利活躍を連續的存置する事は我國家的見地よりして好いことで有ると考へ直にバロンウンゲルンと契約して

無償を以て 其の森林伐採權を讓り受けたのである。

セミョノフ將軍は更に曰く此の森林伐採に從事せられ彼の同地方を迂回し來る過激派の阻止に當らるゝならば、實に余としても幸福で有り、且つ滿鮮地方赤化の防禦線ともなる譯で有るから眞に余の爲め日本武士道的援助の意義を鮮明せらるゝことゝなる故貴下が伴はれる日本人には悉く露國一等大尉の稱號を贈る云々と、余、血と涙とを有するものである、此の危險なる森林伐採事業を引受けて、オノンに到るは全くいと云ふ事と、一は、武士的態度を以てセミョノフを援助せんとする微志に外ならなかつた。余は急遽鮮滿に引返し邦人百餘名を伴ひ至り目下オノン上流に在つて此の抱負を以て事業に着手した。

百花爛漫として群芳堂に聚まる

目覺むるやうな賞品授與式

本社主催十美人投票

榮ある當選者のニコ〳〵顏

◇本社主催鮮滿藝妓十美人投票會の當日になつた昨二十六日は豫て滿都紳士の血を湧かしめた十美人投票當選者賞品授與式を兼ねてゐることゝて定刻十二時以前より押すな〳〵の大混雜我先にと踵を接して詰め掛けて見る間に

立錐の 餘地なき迄に滿員となり愈授與式となると流石固苦しい式場と異つて艶めかしいこと夥しく先づ豫定の通り開會の順序につれて本社相談役大垣丈夫氏が例の白髯を撫しつゝ一場の挨拶あり愈々賞品授與となると特等席に時ならぬ花を湧えて滿目を惹いてゐた當選十美人は心に亮つく一方其の顏觸れを見渡すと一等當選の梅葉君は宛ら京の

舞妓の 目のあたりに見る如き艶姿を添え二等の一齡の相變らず可愛い齡は僅に十美人の次位を占む可き價値を背かせ四等の小蝶は惜い哉目下お化粧中とあつて代理人がお顏を見せ五等の朝駒は夏の銀河か月見草を見る如な楚々たる裝ひ次で多喜三、照葉、一者、千代龍等何れを花とも見分難い

尤物揃 應援隊としては各券番の代表者始め關係一同が綺羅星の如く居並び賞品授與式前に揃つて入京以來連戰連勝のレコードを造つた蝶々會野球選手の鑄特に本社より寄贈した優勝旗を授與することになり蝶旗は右手選手に二名の選手代表者の手に渡た、次は愈所心の十美人の方で舞臺にウプ高く積まれた賞品の山は一々名

本社主催觀劇會

看客がヤンヤと共鳴

電燈電車瓦斯糞尿水道の攻擊は劇化されて演出され

本紙愛讀者の慰安に

興を添えた美人連と安來節

織手に 目錄と共に贈與められて大喝采の聲であつたが交々登場する當選美人の艶姿は亦一入觀衆の眼を惹いて興味盡きず社長代理の式辭に次いで當選者の代表で一等の梅葉サン御挨拶をと大垣相談役の言葉に「演說はやらいでも宜敷いか。」とボックスの紅顏の日に徐歩で立ち舞臺上の本社幹部始め觀衆一同に向かつて

花辨の 如き口唇を開き「おほきに。」と聞かな明眸を伏せて可憐なお叩頭をすると湧くが如き拍手が一齊に起り滿場時ならぬ賑ひの裡に授與を終つた時に午後一時半

賞品授與式が終つて再び幕が上がると特に本社が蝶々會喜劇の第一幕目「遺言狀」と言ふ抱腹絕倒の笑劇に移り觀衆は腹を抱えてこけつまろびつの大笑ひ先づこれで充分に笑ひの端緒を切つて置いて第二幕目「乳母の子」の幕が上ると本社

寫眞班が レンズを觀衆の頭上に浴びせ掛け一二三でポツとマグネシヤの煙を上げてまんまとカメラに收める此幕よりは特に本社演藝係りと蝶々會舞臺監督丸川文學士とが執筆した脚本の上で撤て本社が連日紙上にて筆鋒鋭く攻擊せる電燈、電車、糞尿、水道等の論旨を巧に劇化して仕組んだもので一座の花形金蝶が

諷刺諧謔 口を衝いて追擊すると平常本社の追求振に共鳴してゐる觀衆はヤンヤと計りに歡聲を揚げ其適切な皮肉振は僅に本社の趣意を劇化して餘りあるものであつた第二幕が下りると本社側の希望と東券代表者の好意により三東券名妓の飛入り「安來節」縮緬ひの一隊に移り師鼓は惠比子屋の智惠子扱師の清水花房の照千等の可愛い扮裝に三味線は既に定評ある一二藝兆兩妓の醉ふが如き

音締めに 唄は有名なおきんさんの美聲ロハで此樣な餘興までと觀衆一同ははく〳〵もの第三幕が一座の大出物社會劇「士族の家」で大に喝采せ滿場割るゝが如き喝采裡に觀衆は滿足に一日の歡を盡し午後六時打出して更に夜間の開演を待つた。

帝都の菊に醉ふ

朝鮮女教員見學團の入京

朝鮮女教員團は二十五日午前十時二十分東京驛着列車にて著京せるが總督府出張所員時實忠南李成尙上林成北各知事代理在京朝鮮學友會員總代大日本教育會員數十名其他の出迎を受くプラットホームには後藤修養團主幹學友會會代金春姬附代歡迎辭を述べ羣陸團長團員總代京城女子普通學校教諭李元仁氏の挨拶あり齋藤總督の歡迎を受け直に車を連らねて宮城遙拜日比[illegible]

同輩殺し

米國汽船內の

加害者直に逮捕さる

大連碇泊中なる米國汽船ニバリア號乘組主厨エッチ、エム、ムスハリ（三〇）は二十四日午後四時船內食堂ボーイ、エッチ、ヤヘム、グリン（三二）と爭論の末ムスハリは兇器を持つてグリンの胸部を刺し即死せしめたるが加害者は直に逮捕された（大連來電）

北海道の初雪

昨年より一月早い

十四日北海道にて初雪降りたるが昨年より一ケ月早しと（函館來電）

東大門署の大活躍

重大事件か

東大門警察署にては二十五日午前九時頃不逞鮮人の行爲にかゝる〇〇〇〇を鐘路署管內より發見したるを以て犯人搜索の爲東方面に向つて一大活躍を開始せり

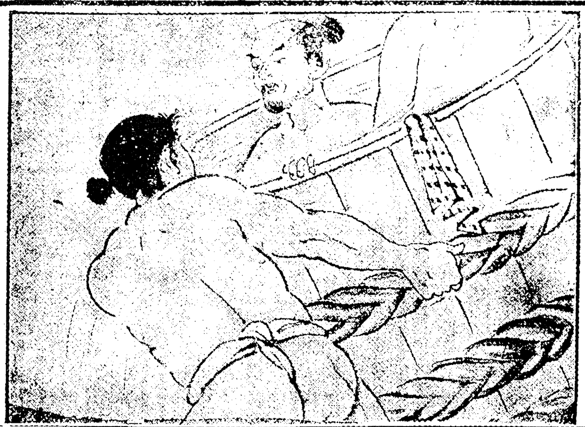
「八十一」

小説 判官 照手姫

旭亭櫻山口演 明舟畫

太郎大力を現はす

四人は風呂へ入らうとしたが、何れも是れも皆汚くて入る事が出來ない すると我慢の出來ない太郎は ツカ／＼と其れへやつて來て 太「ヤイ」此の上漏路、貴様達は貴様達の穢がはれた風呂へ入つて居ろ、我々の入る風呂まで此の通り汚して了ふとは禮を知らん奴だ、弘法大師といふ坊さんは、乞食を大事にしたか、知らんが、貴様達自身で自分の汚い事を知つたら、何故遠慮つて、大に遠慮をしないのだ知つて他の風呂まで斯んなに汚して終ふとは怪しからん」 乞「入る事が出來なければ裏に門があるから、之を明けて水を搬ツ込んで焚いて入つたら宜いぢやないか」 太「己れ減らず口を叩き居つて、それぢや然うして遣るぞ」太郎突然二人ばかりの乞食の入つて居る据風呂へ諸手を掛ヤツといふと宙に持ち上げた、太郎の事を馬鹿々々といふが他の庄司も力業になると、決して默つては居られない方だ、力瘤をムカ／＼させて 庄「ウム太郎面白い事をやるな、俺も手傳つてやらう」と是又二人ばかり入つて居る据風呂を持ち上げて裏の川端迄てやつて參ります風呂の中の乞食は驚いたの何のぢやアございません、乞「助けて下さい／＼、どうぞ御助けを願ひます、御慈悲御情でございます」之を見て手代の者も吃驚いたし上漏路の方を入れた風呂を持ち出しになつて何うなさいます 庄「裏の川へ持てつて此の汚れた湯を明けて、默つて新しく水を汲み込んで、焚いて入れと乞食共が云ふから今明けてやらうといふので」 手「明けるといつても、人間の入つてるのを明けたら大變でございます、どうぞ勘辨してやつて下さいまし、それにしても貴客方お二人は大變な御力でございますな、上漏路のお客様、斯んな強い方に逆らつたら何をなさるか知れません 早く御詫をなさい 乞「先刻から詫て居ります、御慈悲、御情でございます「どうぞお旦那様、御助けを願ひます」 庄「ハヽ、強情張を出しやアがる、宜しく／＼命を取つた所が仕方がない」と風呂をば原の臺所へ持ち歸つたそこへ恰ど兵助と大八がクス／＼笑ひながらやつて來て 兵「コレ庄司、太郎可哀想に乞食だつて人間だ、殊に弘法大師の御論しに從つて、斯ういふ者を大事にして居る、四國へ來て然な事をしてはならない、しかし上漏路のお前方も少しは遠慮といふ事を知らんでは困る」 乞「どうも恐れ入ります」と皆風呂から出て脱衣の方へ逃げて了つたソコで汚れた湯を新しく立て直し四人心地好く入つて、湯上りに一ぱい飲るも心地の好いこと、精進物ではあるが料理も好し、酒も美味い、四人は四方山の話をしながら飲んで居る處へ主人の七郎右衛門が出て參つて、七「イヤどうも御客様、貴客方の御力には上漏路の人々も驚いて、斯んな處に泊つて居たら、何んな目に遇ふか知れないといつて皆逃て行て了ひました」 兵「イヤ御主人、飛んだ騒ぎをして氣の毒であつた、此の兩人は性來この大力で斷ともすると力を出すので大きに困る場合もある」 七「失禮ながら御力ばかりで武藝の方は除りなさいませんか」 兵「否、武藝も好みとあらば御覧に入れても宜い」 七「ハアシテ見ると貴客方は表こそ變へて在つしやるが元は一騎の御武家様でございますな私共は斯ふいふ島のやうな離れた國に居りますから、都の事は解りませんけれども、足利の勢が大勝つて、楠新田の殘黨も皆滅ぼされ、關東も常陸の小栗一家などいふ強い方々がチリ／＼バラ／＼になつたとの噂も聞きました、若しや貴客方も然いふ方々では在らつしやいませんか」 兵「是れはどうも恐れ入つた、我々は楠新田小栗などいふ然うした名家の末ではないけれどもマア其れに、幾分か關係つて居た者で、足利は實は我々の敵だ其れゆゑ斯く姿を變へて隠々とつてるやうな次第だ」 七「左様でございますか、實は此の高野村へも折々野武士のやうな者が大勢出りまして足利の天下を覆す爲に用金を集める者だなどと村方の者を脅かしますが、多くは物取りで貴客方のやうな興床しい方は滅多にお出でになりません。



演藝案内

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 大正館 電話八七三
當る九月廿四日より引續き大興行
●實寫「カンボシヤの姉」の實況 長尺
●喜劇「フイガロの結婚」尺長
米國メトロ會社近の最傑作
人情活劇「男の熱血」全六卷
斷界の名優ブツシユマン氏とベーン嬢の主役の大活躍劇にして米國西部の原野を背景とせる復讐劇
日活會社演藝部長尾上松之助自作自演劇
的日本大喜劇「彌次喜多」東海道後編 全六卷
前篇に於て「彌次と喜多八」の兩人は浪華からから東海道五十三次の譯を遊戻りりの膝栗毛生命からから三河路まで迴つて來たがそれでも當人同志は否氣なもの旅の恥なら搔き捨て御免と更にて氣の任せのブラ／＼旅お江戸の歸り路交るく滑稽の競争卿の奇拔な珍調劇の結末は愈々お待の宿督ゝ御要心の／＼
毎月一日・十五日・日曜日・祭日晝夜開館

日活 本町一丁目 喜樂館 電話五九七番
當る九月廿四日より新派劇撮供
○實寫 英國の女軍人 長尺
○滑稽 奮世氣質
○米國クレトピクチユー特作品 カールイーカールトン氏提供 米國飛行中尉パート、ホール氏出演 大戰劇
「空中ローマンス」全八卷
歐洲の上空戰に參加すること實に三ヶ年絶大なる偉勳者たる米國飛行中尉パートホール氏が出演せる「戰鬪及熱愛」の行動的大壯觀にして數百の飛行機の爆彈中の大壯觀天地絶滅に突前の大奇觀
○日活京都派新撮影 尾上松之助監督撮影 西洋小説翻案 日本一の組以上新作出演
「村越茂助」全六卷
性來の粗忽武士なれど譜代の大名の四方に使して君命を全ふすは旗本八萬騎中の快勇士が奇拔にも滑稽な抑へて熱下さい物語を一代記の未聞の滑稽劇
○毎月一日・十五日・日曜日・祭日晝夜開館

本町 壽館 九月廿七日(月曜日)正六時 電話七八五
主催 旭信會
演奏曲目
君が代(信夏) 武林唯七(信花)
赤垣源藏(信玉) 松ノ廊下(信廷)
四條畷(信代) 白虎隊(信山)
富士(合奏) 乃木將軍(信君)
湖水渡(信仙) 鉢の木(信雄)
義經(合奏) 村上京劍(信武)
中山安兵衛(信正) 大高源吾(信美)
川中島(信春) 橘中佐(信晴)
貧 盤(旭信) 五銭 旭美
筑後川 五銭 旭節
義士ノ本懐

國際活映會社特約 黄金館 電話二二六六・三六七
當る九月廿二日より新寫眞 四大名寫眞上場 右一尺に付き六時半より開館
米國パラルタ社作 神秘 西部劇 「盃の中」全五卷
ベツレイバクスケイル嬢主演
世界創つて以來人間は強と弱とをしなべて悉く一視平等なり何れも地球の子供として? 戀失に敗なしたローレンは戀の誠と云ふものを信ぜず放浪なる生活に身を持ち崩した然るに神か人か偉大なる力により戀の戀愛に生きる迄
澤村四郎五郎市川延十郎一派 舊劇 「阿部の保名」全四卷
戀しくば尋ね來て見よ和泉なる信田の森の恨みくずの葉高類にても恩義を知る迄に情となり戀に落ちるまでなしたる仲なれ共浮世の義理にかてずして涙で別れ信田の森へ
新派 連續活劇 大活劇 「名金」四卷 上場
全四十四卷の内第七篇八篇
カーテンの間より現れたる怪しき短銃？人か鬼か陰謀者國王の元に捕れしキチー嬢危險を冒して逃走す飛機に有る大塔？飛行船の襲來等々大活劇
國活會社樂館新撮影 新派 悲劇 「谷底」全四卷
平野仙太郎高木香一二派
秋草を分けて深山に入る若者は何の目的か惡辣は雙をとぎ待つて居る風前の燈火生か死か
毎月一日十五日晝夜開館 日曜祭日

朝鮮郵船

元山出帆 (取扱店吉田運輸會社)

大阪行	十月五日	平安丸
下關行	十月五日	會寧丸
江原道行	九月廿九日	鏡城丸
敦賀行	十月三十日	立神丸
浦潮行	九月十五日	立神丸
雄基行	十月十五日	會寧丸
浦潮行	九月廿七日	平安丸

釜山出帆 (取扱店大池回漕部)

大阪行	十月十五日	會寧丸
大阪行	九月廿七日	平安丸
大阪行	十月十五日	潮津丸
大阪行	九月廿八日	雄基丸
下關行	九月廿七日	越後丸
新義州行	九月廿八日	成鏡丸
北鮮行	十月三日	會寧丸
浦潮行	十月三日	浦潮丸
鬱陵島行	九月廿七日	全海丸
江原道行	九月廿八日	鏡城丸
濟州島行	九月廿七日	昌平丸
木浦行	九月廿八日	海州丸

木浦出帆 (取扱店山野回漕部)

大阪行	九月廿六日	雄基丸
釜山行	十月一日	公州丸
濟州島行	十月六日	公州丸
多島海行	十月一日	公州丸
仁川行	九月廿六日	全州丸
新義州行	十月八日	雄基丸

仁川出帆 (取扱店堀回漕部)

大阪行	十月四日	新義州丸
新義州行	十月十一日	雄基丸
木浦行	十月一日	全州丸
海州行	十月	休航
鎮南浦行	九月廿七日	盛鏡丸
青島行	九月廿八日	江原丸

朝鮮郵船株式會社 電話 二三一番
釜山支店 電話一八四番 釜山佐藤町
元山出張所 電話四六四番 元山海岸町
京城取扱店 驛前 松原運送店 電話一〇二番
右ニ當社ハ滿鐵、日本郵船會社、大阪商船會社ト連帶運送ノ便有之候

